

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途及び使用上の制限
供給者の会社名称、住所及び電話番号

製品名称：KW-2000
推奨用途：イオン吸着剤
供給者の会社名称：協和化学工業株式会社
住所：〒762-0012 香川県坂出市林田町4035番地
担当部署：坂出品質保証課
電話番号：0877-47-4704
FAX番号：0877-47-4724
電話番号：0877-47-4704

緊急連絡先

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	:分類できない
可燃性ガス	:区分に該当しない
エアゾール	:区分に該当しない
酸化性ガス	:区分に該当しない
高圧ガス	:区分に該当しない
引火性液体	:区分に該当しない
可燃性固体	:区分に該当しない
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:区分に該当しない
自然発火性固体	:区分に該当しない
自己発熱性化学品	:区分に該当しない
水反応可燃性化学品	:区分に該当しない
酸化性液体	:区分に該当しない
酸化性固体	:区分に該当しない
有機過酸化物	:分類できない
金属腐食性物質	:区分に該当しない
鈍性化爆発物	:区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	:区分に該当しない
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:分類できない
皮膚腐食性/刺激性	:分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分1
呼吸感作性	:分類できない
皮膚感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない
生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:分類できない
誤えん有害性	:分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) :区分2
 水生環境有害性 長期(慢性) :区分2
 オゾン層への有害性 :区分外

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H318:重篤な眼の損傷
 H411:長期継続的影響によって水生生物に毒性
 [安全対策]
 P273:環境への放出を避けること
 P280:保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
 [応急措置]
 P305+P351+P310:

注意書き

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
 外すこと。その後も洗浄を続けること
 P310:直ちに医師/医療機関に連絡すること
 P391:漏出物を回収すること
 [廃棄]
 P501:内容物/容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準
 に従って廃棄すること

他の危険有害性

:情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
 化学物質

成分名	CAS No.	含有量 (%)	官報公示 整理番号 (化審法・安衛法)
マグネシウム・アルミニウム・酸化物	11137-98-7	100	1-23, 1-465 の固溶体

注記:これらの値は、製品規格値ではない

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当しない

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で
 休息させること
 気分が悪いときは医師に連絡すること

皮膚(又は髪)に付着した場合

:皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること

眼に入った場合

:水で数分間注意深く洗うこと
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
 外すこと、その後も洗浄を続けること
 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること

飲み込んだ場合	:口をすすぐこと 無理に吐かせないこと 気分が悪いときは医師に連絡すること
最も重要な徴候及び症状	
吸入	:粘膜を刺激して咳が出ることがある
皮膚	:長時間付着したままの状態では肌荒れすることがある
眼	:重篤な眼の損傷を引き起こす恐れがある
経口摂取	:少量は影響ないが、大量の場合、悪心嘔吐することがある
応急措置をする者の保護	:必要に応じて適切な保護具を着用すること
5. 火災時の措置	
消火剤	適切な消火剤: 周辺設備に適した消火剤を使用する この製品自体は燃焼しない 使ってはならない消火剤:データなし :データなし
特有の危険有害性 消火を行う者への勧告 特有の消火方法	:関係者以外は安全な場所に退去させる
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	:消火作業従事者は全面型陽圧 の自給式呼吸保護具を着用する
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:関係者以外は近づけない 回収が終わるまで十分な換気を行う 適切な保護具を着用する 風上から作業する
環境に対する注意事項	:漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を 防止する 下水、排水中に流してはならない 粉じんが飛散しないようにする
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:掃き集めて、容器に回収する
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	:(取扱者のばく露防止) 粉じんの吸入を避けること (注意事項) 皮膚に触れないようにする 眼に入らないようにする
安全取扱注意事項	:屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること 指定された個人用保護具を使用すること
接触回避 衛生対策	:強酸類との接触を避けること :眼、皮膚、衣類につけないこと この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと 取扱い後はよく手を洗う
保管	:安全な保管条件 換気の良い場所で保管すること 容器を密閉しておくこと 涼しいところに置き、日光から遮断すること 屋内、床上に保管する (避けるべき保管条件) 高温多湿を避けること

安全な容器包装材料

吸着性があるので揮発性または臭気のするものに
近づけないこと
:データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
許容濃度

:管理濃度:データなし
:日本産衛学会(2021年度版)
第3種粉塵
吸入性粉塵:2mg/m³
総粉塵:8mg/m³

設備対策

:適切な換気のある場所での取扱う
洗眼設備を設ける
手洗い/洗顔設備を設ける

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具

:呼吸用保護具(防じんマスク)を着用すること
:保護手袋を着用する
:側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを
着用する

皮膚及び身体の保護具

:保護衣を着用する

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態

:粉末又は粒

色

:白色

臭い

:データなし

臭いの閾値

:データなし

融点/凝固点

:データなし

沸点又は初留点

:データなし

沸点範囲

:データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)

:燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

:適用外

引火点

:燃焼しない

自然発火点

:適用外

分解温度

:データなし

pH

:適用外

動粘性率

:データなし

溶解度

:水に対する溶解度:不溶、鉱酸に溶解する
溶媒に対する溶解度:データなし
溶媒の溶解度:データなし

n-オクタノール/水分配係数

:データなし

蒸気圧

:データなし

密度及び/又は相対密度

:3.1

相対ガス密度(空気=1)

:データなし

粒子特性

:データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

:データなし

化学的安定性

:通常の保管条件/取扱い条件において安定である

危険有害反応可能性

:データなし

避けるべき条件

:高温多湿を避けること

混触危険物質

:強酸類

危険有害な分解生成物

:データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性(経口、腹腔内)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	: 情報なし
急性毒性(吸入: 気体)	: GHS の定義における固体であるため区分に該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 情報なし
急性毒性 (吸入: 粉じんおよびミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: ウシ角膜の不透明度および透過性テスト(BCOP)の結果に基づき、深刻な眼の損傷が確認された (Charles River Laboratories, 2018)
呼吸器感受性/皮膚感受性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
その他	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 藻類生長阻害試験 72h-ErC50: 2.2 mg / L 72h-ErC10: 0.34 mg / L (Charles River Laboratories, 2019)
残留性・分解性	: 情報なし
生物蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書にリストアップされている成分を含まない。
他の有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法	: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること 承認された廃棄物集積場で処理する 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送	:ADR/RIDの規定に従う
海上輸送	:IMOの規定に従う
航空輸送	:ICAO/IATAの規定に従う
国連番号	:UN3077
国連分類	:クラス9
輸送品名	:環境有害物質(固体)(マグネシウム・アルミニウム・酸化物)
容器等級	:III
海洋汚染物質	:該当
MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	:非該当
国内規制	
陸上規制情報	:道路交通法に従う
海上規制情報	:船舶安全法に従う
航空規制情報	:航空法に従う。
輸送時の特定の安全対策	:輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。
および条件	落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 その他関係法規の基準に従い輸送を行う。
緊急対応時指針番号	:非該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

化審法	:非該当
労働安全衛生法	:非該当
毒物及び劇物取締法	:非該当
化学物質排出把握管理促進法	:非該当
消防法	:非該当
海洋汚染防止法	:非該当
航空法	:環境有害物質(施行規則第194条 危険物 告示 別表第1)
船舶安全法	:環境有害物質(危規則第2条第1号) 危険物 告示 別表第1)
輸出貿易管理令	:輸出貿易管理令別表第一の16項
水質汚濁防止法	:指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 44 アルミニウム及びその化合物

16. その他の情報

各国登録情報	
TSCA登録	:有り
EC番号	:234-386-9
DSL登録	:有り

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN
NITE CHRIP
NITE GHS分類データ
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和元年度（2019年度））です。